府中市福祉計画　地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画のパブコメ以降のご意見とまとめの方向

パブリックコメント

パブコメ ご意見

・計画策定、見直し等に市民参加を推進

・市民後見人の位置づけを明確に

・人権の尊重の根拠として、障害者権利条約も入れるべき

・地域包括支援センターを地域市民を対象にした（仮称）『地域福祉包括支援センター』のような考え方で、運営できないか。

・地域コーディネーターの役割は何か

・防災、防犯のまちづくりの推進

・まちのバリアフリー化に今一歩の当事者参画を図るべき。

協議会でのご意見（継続中）

1 利用者本位の仕組みづくりのために
・権利擁護を支援する市民後見人の定義について

2 安心して暮らせるまちづくりをめざして
・地域包括支援センターの相談機能を、高齢者だけでなく、障害者や子ども等幅広く地域の市民を対象に

3 いきいきとした暮らしを支える仕組みづくりのために
・避難所でのプライバシーの保護について
・高齢者、障害者を把握することを優先的に考えるとはなにか

4 みんなでつくる支えあいのまちづくりをめざして
・地域コーディネーターの役割と位置づけ、具体的なイメージについて
・ボランティアコーディネーターについて

5 福祉のまちづくりをめざして
・点字ブロックの敷設について　・自転車専用道路利用者のマナーについて
・ユニバーサルデザイン、バリアフリーについて

制度改正等

●東京都福祉のまちづくり条例　改正作業中
東京都では、福祉のまちづくり条例の改定作業を庁内で検討しており、素案に対して 11 月 7 日まで意見収集を行い、今年度中の改正をめざしている。

計画に盛り込むこと

●計画の数値目標

《後期基本計画での目標設定》
○福祉まつりへの参加者数
（現状）　（平成 25 年度）
27,000 人　→　29,400 人
○地域福祉活動団体数
61 団体　→　70 団体
○社協ボランティア登録者数
1,104 人　→　1,170 人
○バリアフリーマップ協力施設数
24 施設　→　36 施設
○福祉のまちづくり環境整備助成施設数
50 施設　→　65 施設

《その他の目標設定》

●記載を充実する施策内容

○地域コーディネーターの設置

○市民後見人の養成

○ユニバーサルデザインの考えを取り入れたまちのバリアフリー化を推進

府中市福祉計画　高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第４期）のパブコメ以降のご意見とまとめの方向

パブリックコメント

パブコメご意見

・介護予防の目的の明確化

・介護予防推進センターの対象拡大を

・高齢者住宅の充実を

・特養、ケアハウスの充実を

・ボランティア動機付けのシステムの導入を

等

協議会でのご意見（継続中）

○介護保険事業計画（第４期）を中心に審議中（第３回協議会でのご意見）

【介護予防について】

・　一般施策、介護保険に関する介護予防の考え方を整理すべき
・　介護予防の必要性を地域に分かっていただき給付を増やさないようにする
・　予防のために就労やボランティアにも着目していく
・　文化センターの充実を図るのが重要　・時間を貯金するしくみも考えられる

【第４期介護保険料の設定について】

・　段階設定についてはきめ細かな方法も検討すべきである

【その他】

・　基盤整備にあたっては、一般の住宅を借り上げるような支援も考えられる
・　必要な人に必要な情報が提供されるよう、情報提供の方法を検討する必要がある

ヒアリング調査

○グループホーム府中

・これから認知症ケアの拠点や、専門職を増やす必要がある。また、地域での支援のため認知症サポーター養成講座を開いてほしい

○在宅介護支援センター（しんまち、あさひ苑）

・危機去れシステム充実をめざし「地域が繋ぐ高齢者安心ネット」提案（あさひ苑）

【行政に対するご意見】

・センターのバックアップに対する希望　・地域のまちづくりに対する種まきを希望
・足の便をよくしてほしい　　・高齢者の食や生活支援策を充実してほしい

国の動き、東京都の動き

◆総務省　介護保険事業等に関する行政評価・監視　＜評価・監視結果に基づく報告＞（９月）
◆厚生労働省　安心と希望の介護ビジョン　（第１回～第５回）
◆社会保障審議会　介護給付費分科会　（介護報酬改訂に向けた調査、視点検討、意見のとりまとめ）

◆東京都　高齢者保健福祉計画（第４期）作成検討委員会
◆東京都　認知症対策推進会議　本会議・仕組みづくり部会・医療部会・若年性認知症支援部会

計画に盛り込むこと

第１章

・高齢者を取り巻く現状について、統計データ等の最新版への見直し

・給付実績については、見込量検討のため平成 20 年度上半期データを用いて分析中

第２章

・基本的な考え方は変更なし

第３章

・「介護予防の体系的取組」について、ご意見を受けて、一般施策も含めて充実

第４章

・第３章及び第５章の検討に伴い、委員ご意見も受けて修正

第５章

・　介護保険サービス見込量、第１号被保険者保険料について記載
・　介護サービスに関する基盤整備計画を立案

府中市福祉計画　障害者計画・障害福祉計画（第２期）のパブコメ以降のご意見とまとめの方向

パブリックコメント

パブコメご意見

・協議会への当事者参加を進めてほしい。

・相談機関の充実

・ヘルパーの充実

・利用しやすいきめ細やかなサービス

・障害者関係団体の後継者問題等の対応

・ライフステージを見通したサポート

・教育と療育、支援等の連携

協議会でのご意見（継続中）

１ 利用者本位のサービスのために

・相談支援の充実（高次脳機能障害、難病患者、発達障害も含む）

・ホームヘルパーの確保のため報酬の引き上げなどを国や東京都に要請するとともに、介助の担い手を障害のある人自身が探す仕組みを検討する（パーソナル・アシスタント等）

２ 安心して暮らし続けるために

・幼少期からのライフステージを見通した支援体制の充実

・就労支援の充実（ジョブコーチ）、府中市による職場体験、積極的な職域の拡大

・療育体制の充実とともに家族への支援の充実、就学前・就学後もスムーズに移行できることが必要　　・訪問看護の充実

・障害のある方が日常的にスポーツ、余暇活動に地域で取組めることができる仕組み

３ 地域で支える福祉をめざして

・パーソナルアシスタント制度の検討

４ ともに歩む地域をめざして

・当事者団体・家族会の設立・運営支援

・病院のバリアフリー状況の公開、当事者によるバリアフリー推進の点検

ヒアリング調査

発達カウンセリングポップシップ

・療育支援を中心に活動、学習的な支援が約半数　・利用者の就労ニーズは高い

・今後は就労支援に力を入れたい　　・学校との連携ははじまりつつある

高次脳機能障害者のつどい 調布ドリーム

・週３日、脳のリハビリ、コミュニケーション活動をしている

・自治体に求めることは、相談機能の充実、啓発活動の推進、支援ネットワーク構築、就労支援など

制度改正等

◆ 国が示した資料

・第２期障害福祉計画の策定に向けて～第１期計画からの主な変更内容（案）について（障害保健福祉主管課長会議）

・第２期障害福祉計画策定における留意事項について（全国障害福祉計画担当者会議）　等

◆都の作成にかかる資料

・第五期東京都障害施策推進協議会提言のあらまし　・第２期障害福祉計画に向けた東京都の基本的考え方

・第２期障害福祉計画において新たに記載・設定することとなる主な事項等　等

計画に盛り込むこと(案)

第４章 目標に向けた取組

・国や東京都への要望の扱い

・幼少期からのライフステージを見通した支援体制の整理

・療育体制の検討（身体・知的・精神、医療との連携）

・就労定着支援、教育と福祉の連携

・家族への支援体制

・市の職員採用の検討

・障害者福祉団体への支援

・ジョブコーチ、発達障害などの用語の整理

第５章 障害福祉計画(第２期)

・制度改正への対応

・平成 23 年度の数値目標については、第１期計画を維持

・平成 23 年度のサービス等の量の見込みは、第１期計画を維持しつつ、実績、今後の事業者の新体系への移行時期から見込む

・サービスの実利用者数の見込みの追加